

| 質問事項                    |   | 選択式回答   | 記述式回答   |
|-------------------------|---|---------|---|
| <b>経済動向</b>             |   |         |   |
| 1                       | <p>2016年2月上旬から2月下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年11月上旬から11月下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。</p> | 悪くなっている | <p>全国中央会が発表した12月の中小企業月次景況調査によると、9指標中5指標が悪化、特に景況並びに売上高DIは年末年始の需要期にも拘わらず、2ヶ月連続悪化する結果となった。その後原油安・中国をはじめとする新興国の景気減速等の影響を受け、急速な円高・株安という局面に、多くの中小企業は積極的な事業展開を控えるなど慎重なマインドとなっている。ものづくりや地域と密着する事業に活路を見出そうとする中小企業にとって、实体经济とは関係なく大きく動く金融・株式市場の状況が大企業等との取引に少なからず影響を与える可能性が強まり、設備投資や賃金改善に向けた一歩が踏み出せなくなるのではないが。</p>  |
| <b>2016年前半に取り組むべき課題</b> |   |         |   |
| 2                       | <p>2016年前半において、記載した3つの課題に関し、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について、具体的な推進方法や手法がありましたらご紹介下さい。</p> <p>また、これら3つには含まれないが、同様に重要だとお考えの課題がございましたら、その推進方法とあわせて具体的にご記載下さい。</p>  | -       | <p>600兆円経済の実現に向けては、設備投資・人材投資や消費の増加が不可欠であるが、昨今の経済情勢(円高・株安、新興国を中心とした世界経済の減速等)によって、これまでのアベノミクスの効果が弱まっている感は否定できず、中小企業は先行きへの不安が急速に高まっている。少子高齢化が進む我が国において、中小企業の経営者も必然的に高齢化が進捗している。その中で後継者難から、廃業していく中小企業が増加は地方の雇用を支える受け皿の減少に直結する。ローカルアベノミクスは600兆円経済を支える大きな柱であり、その柱を下支えする中小企業を支えることが、雇用・賃金(所得)の向上に繋がることから、例えば、事業承継に関する仕組みを統合、集約、事業再構築等と繋げるなど統合的な政策の推進を行うべきである。</p> <p>消費税の複数税率の導入については、税と社会保障の一体改革の観点から、また、納税事務を行う事業者への過度な負担等から懸念がある。円滑な制度実施には、事業者への周知や手続の簡素化等はもちろんのこと、現場が混乱することのないよう、時間をかけて実証しつつ慎重でかつきめ細かな対応をお願いしたい。</p> |